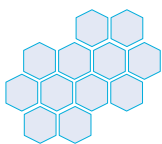


2025年2月期中間期 決算説明会

2024年10月17日

代表取締役社長 河田 淳

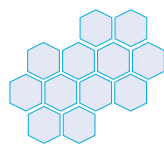


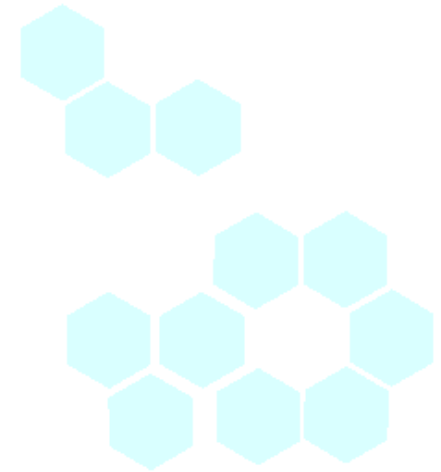
-
1. 2025年2月期中間期 決算概要 . . . P.3

 2. 2025年2月期 業績見通し . . . P.18

 3. 2025年2月期の重点取り組み . . . P.22

 4. 参考資料 . . . P.30
-





2025年2月期中間期 決算概要

2025.2期 中間期 連結業績

中間期の連結売上高、連結営業利益は**増収増益となり、過去最高を更新。**

連結売上高：24,376百万円（前期比 +9.4%）

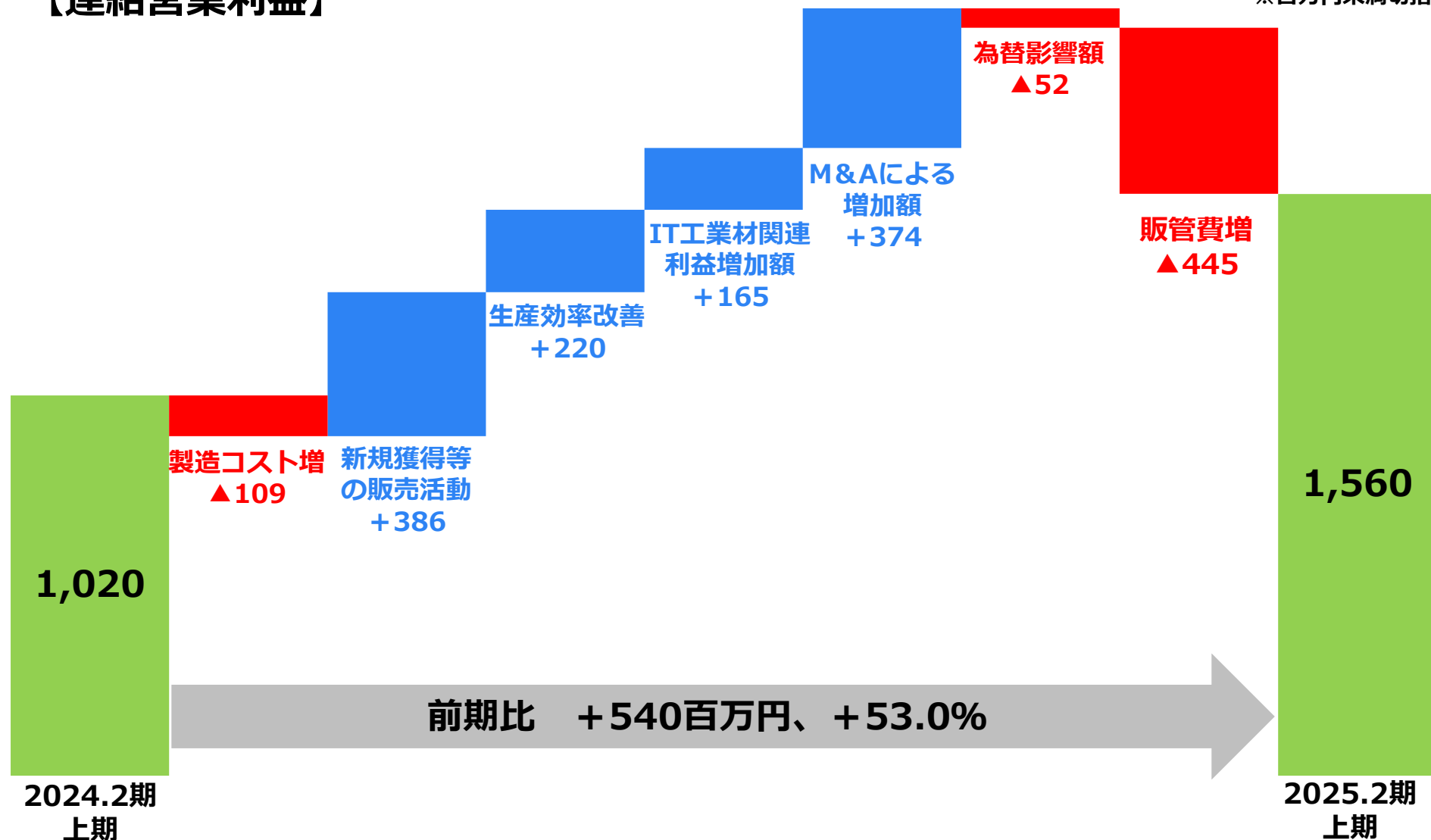
連結営業利益：1,560百万円（前期比+53.0%）

- ☀️ 冷凍食品が好調に推移したこと、国内子会社の貢献により食品関連は増収増益。
- ☀️ IT・工業材関連ではスマートフォン用途や半導体関連などが好調に推移したこと、自動車内装材が回復傾向にあることにより増収増益。
- ☔️ 圧縮袋などの収納商材が消費動向の落ち着きによるテレビショッピング放映枠縮小の影響で減少したことにより減収。

営業利益増減要因（前期比）

【連結営業利益】

(単位：百万円)
※百万円未満切捨



中間期決算ハイライト

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2024.2期 2Q累計 実績	2025.2期 2Q累計					
		実績	前年同期比		計画	計画比	
			差額	比率		差額	比率
売上高	22,279	24,376	+2,097	+9.4%	23,850	+526	+2.2%
売上総利益	3,344 (15.0%)	4,329 (17.8%)	+985	+29.5%	3,850 (16.1%)	+479	+12.5%
販管費	2,323 (10.4%)	2,768 (11.4%)	+445	+19.2%	2,850 (11.9%)	▲81	▲2.8%
営業利益	1,020 (4.6%)	1,560 (6.4%)	+540	+53.0%	1,000 (4.2%)	+560	+56.1%
経常利益	1,213 (5.4%)	1,625 (6.7%)	+411	+33.9%	1,089 (4.6%)	+536	+49.3%
親会社株主に帰属する 中間純利益	685 (3.1%)	1,247 (5.1%)	+562	+82.0%	705 (3.0%)	+542	+77.0%
設備投資額* 1	883 (4.0%)	864 (3.5%)	▲18	▲2.1%	795 (3.3%)	+69	+8.7%
減価償却費* 2	625 (2.8%)	622 (2.6%)	▲3	▲0.6%	608 (2.6%)	+13	+2.2%

* 1：設備投資額には建設仮勘定は含まない * 2：のれん償却額は含まない

(注)換算レート 2025.2期2Q 22.35円/元 161.14円/ドル

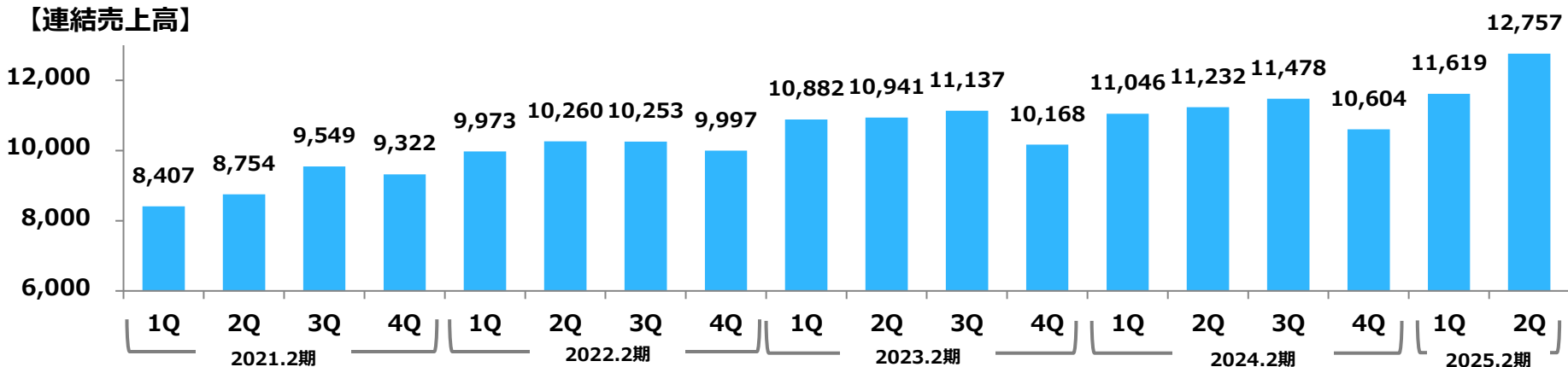
中間期決算ハイライト

四半期毎 売上・営業利益推移

- ・スマートフォン用途や半導体関連が好調に推移していること、国内・国外子会社の貢献により前年同期を上回った。
- ・第2四半期は過去最高の売上と利益を達成。中間期でも同様に過去最高。

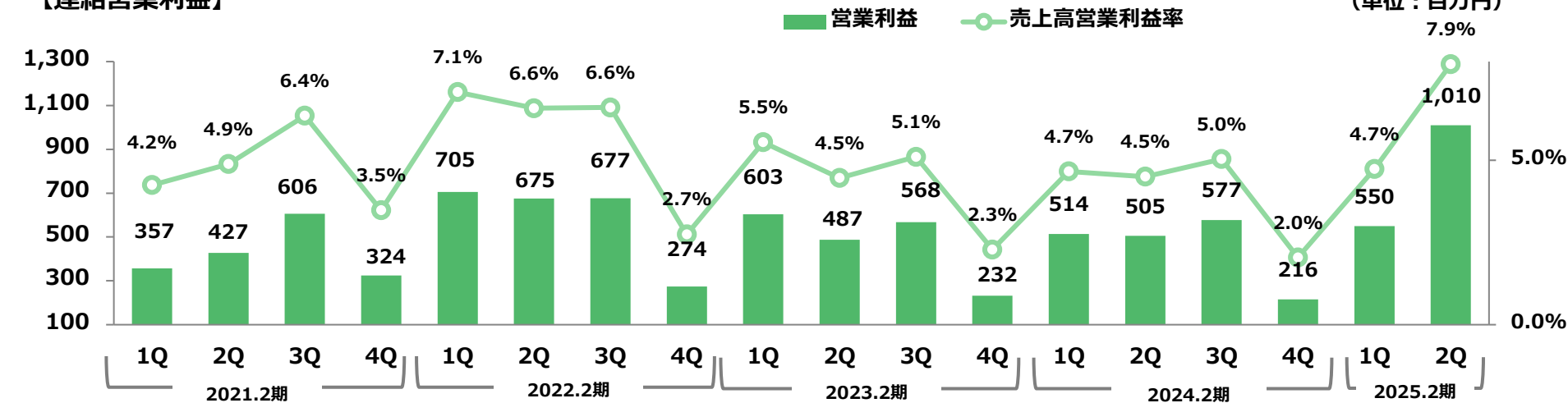
(単位：百万円)

【連結売上高】



【連結営業利益】

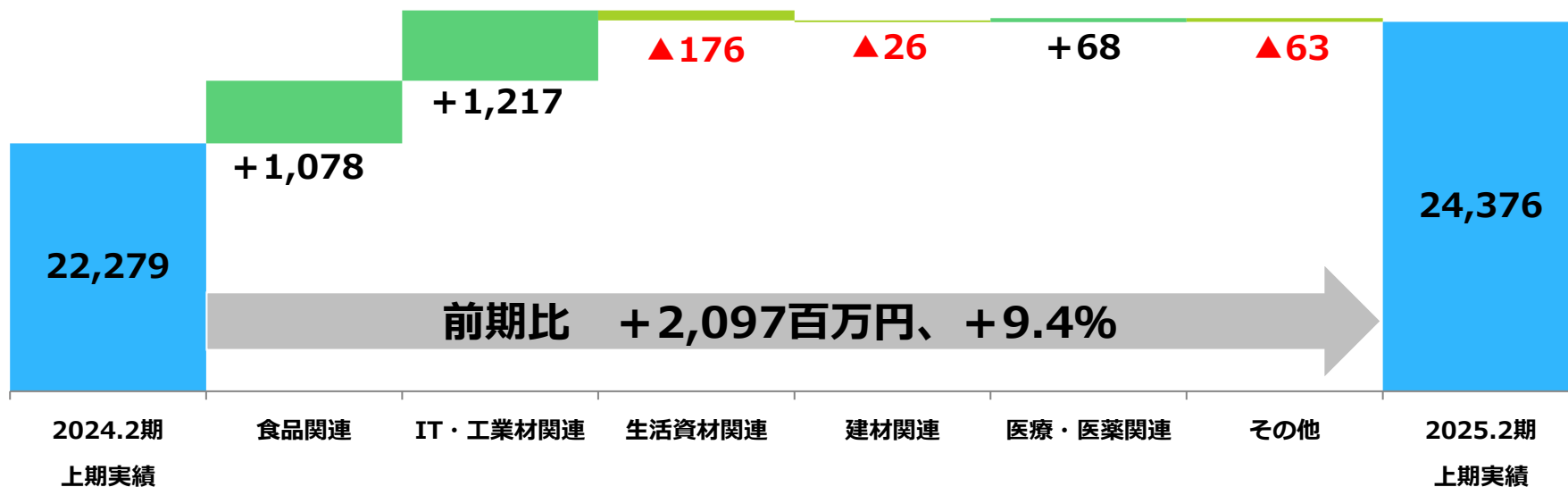
(単位：百万円)



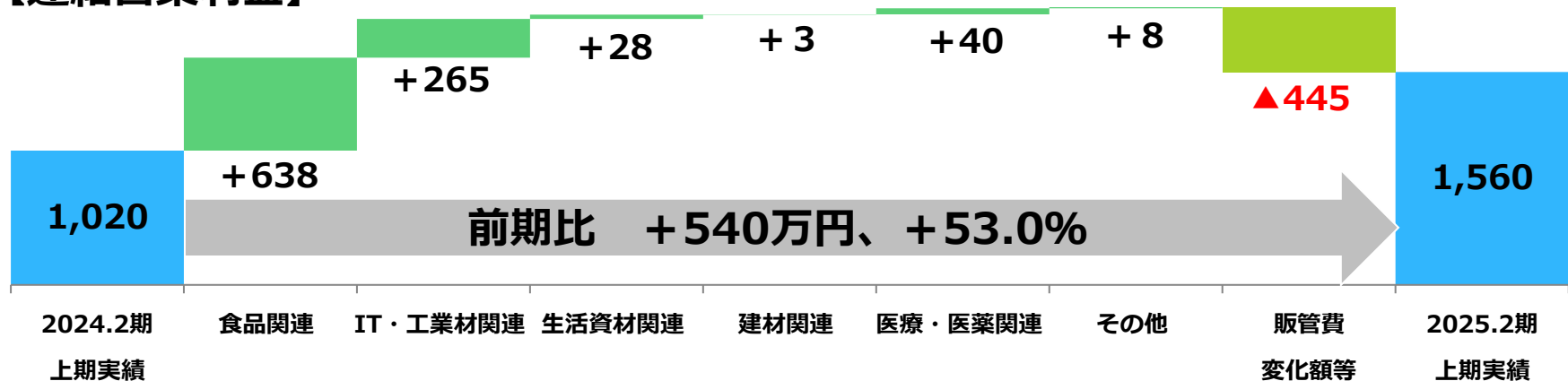
売上高・営業利益増減要因（前期比）

【連結売上高】

(単位：百万円)
※百万円未満切捨



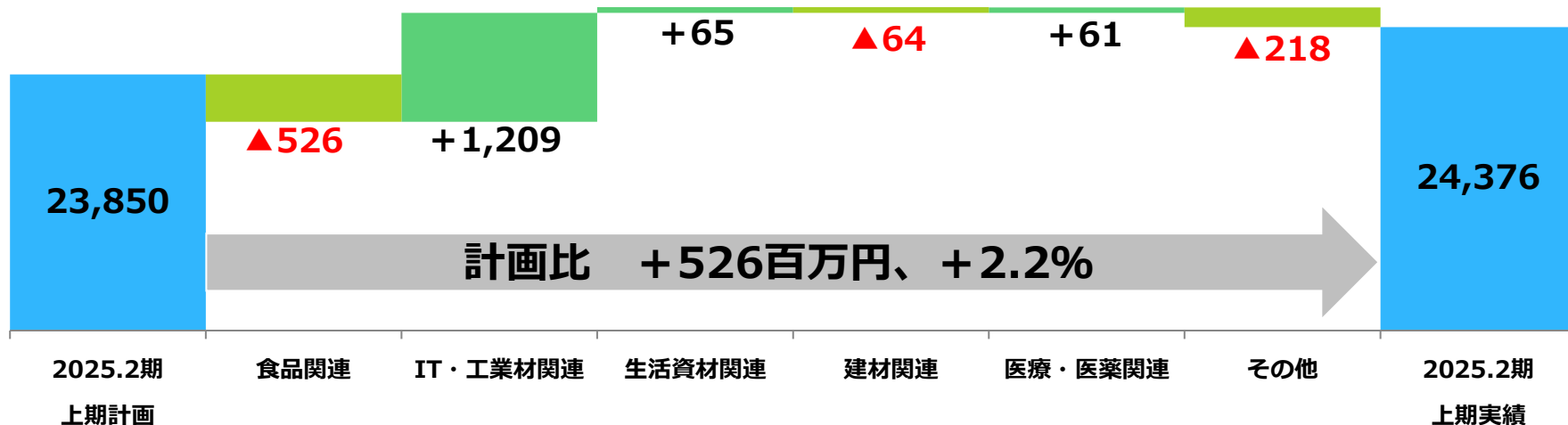
【連結営業利益】



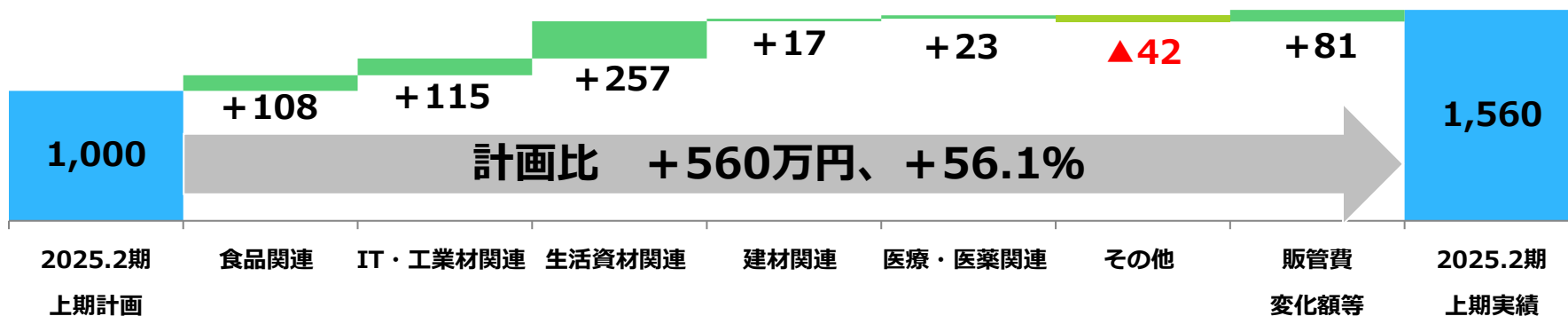
売上高・営業利益増減要因（計画比）

【連結売上高】

（単位：百万円）
※百万円未満切捨

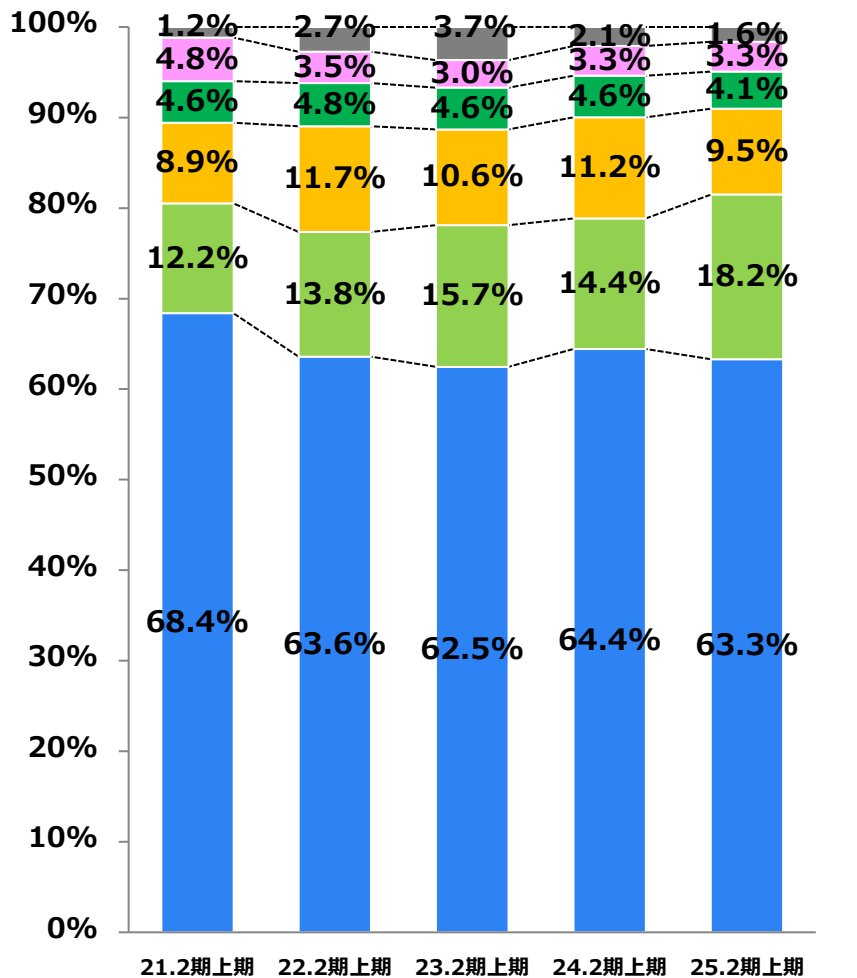


【連結営業利益】

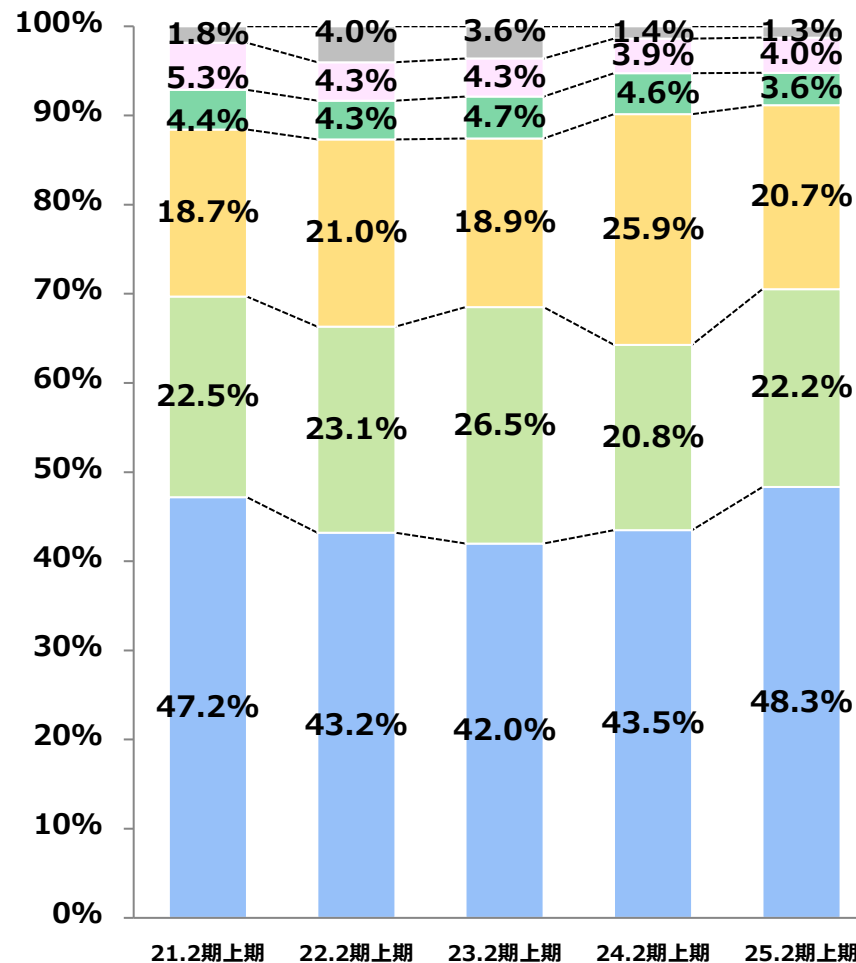


用途別売上高・売上総利益構成比の推移

【連結売上高】



【連結売上総利益】



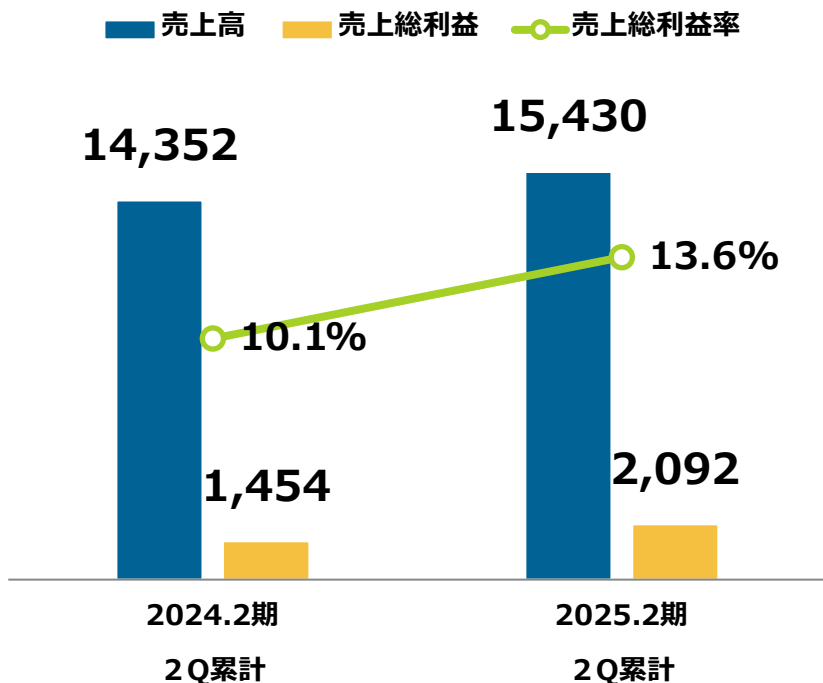
■ 食品 ■ IT・工業材 ■ 生活資材 ■ 建材 ■ 医療・医薬 ■ その他

■ 食品 ■ IT・工業材 ■ 生活資材 ■ 建材 ■ 医療・医薬 ■ その他

用途別状況 食品関連

食品関連

(単位：百万円)



当社製品 採用例



パスタ容器



弁当容器 イメージ

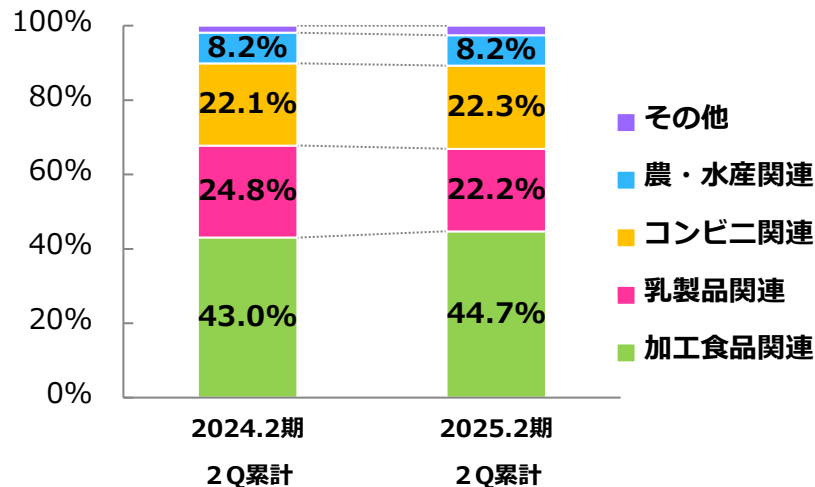


飲料蓋

■ 主要製品別販売状況

加工食品関連	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍食品が好調 ・惣菜分野は堅調に推移
乳製品関連	<ul style="list-style-type: none"> ・前期好調であったヨーグルト関係の一部商材が減少
コンビニ関連	<ul style="list-style-type: none"> ・容器成型加工が堅調
農・水産関連	<ul style="list-style-type: none"> ・農産向けフードパックが堅調

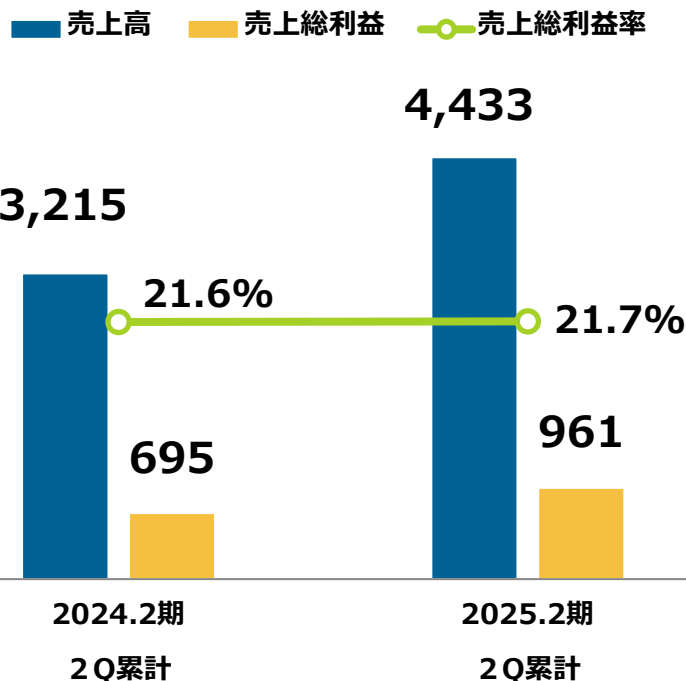
■ 主要製品別販売構成比（連結）



用途別状況 IT・工業材関連

IT・工業材関連

(単位：百万円)



当社製品 採用例



各種工程フィルム

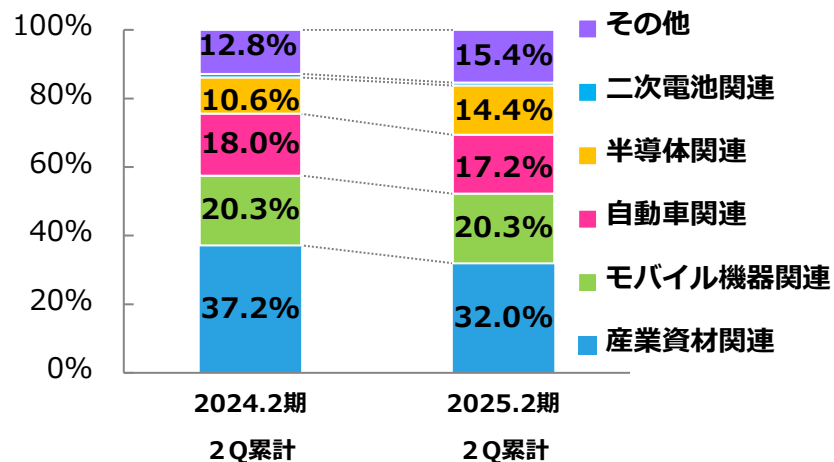


NSセパ

■ 主要製品別販売状況

産業資材関連	<ul style="list-style-type: none"> 石化産業向け重袋等が堅調 産業資材向けの多層ナイロン共押出袋が増加
モバイル機器関連	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン用途が増加
半導体関連	<ul style="list-style-type: none"> 一部の電子部品パッケージ材料等が好調に推移
自動車関連	<ul style="list-style-type: none"> 自動車内装材が回復傾向
二次電池関連	<ul style="list-style-type: none"> スポット案件に加え、試作が増加
その他	<ul style="list-style-type: none"> 各種開発案件が増加

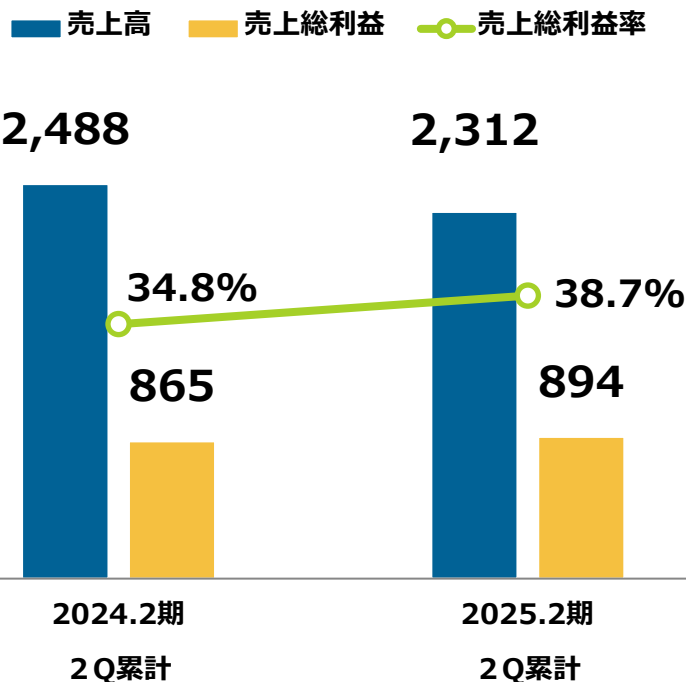
■ 主要製品別販売構成比 (連結)



用途別状況 生活資材関連

生活資材関連

(単位：百万円)



当社製品 採用例



エアコン室外機用
遮熱シール



フライパンシートにもなる
まな板シート

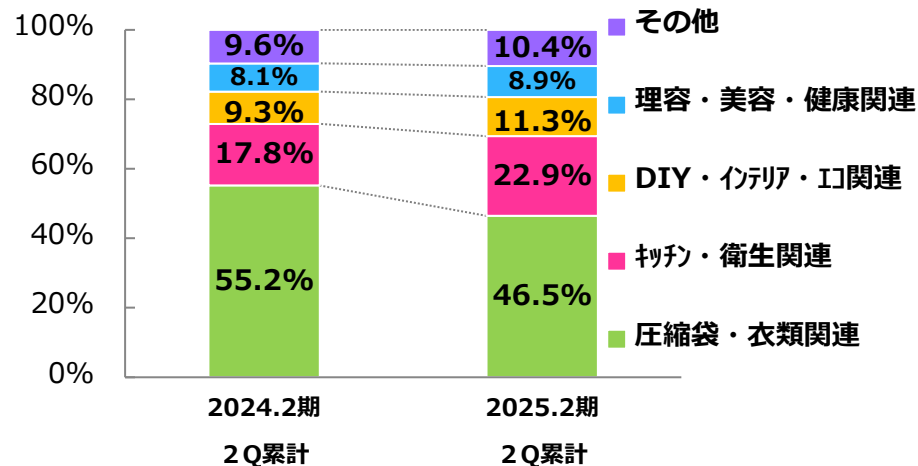


ワッフル
シートたわし

■ 主要製品別販売状況

圧縮袋・衣類関連	・消費動向の落ち着きによるテレビショッピング放映枠縮小の影響で減少
キッチン・衛生関連	・利益率の高い自社商品の販売が好調
DIY・インテリア・工関連	・エアコンの遮熱カバーや断熱シート等の季節商材は堅調
理容・美容・健康関連	・毛染関係（くし、手袋）が堅調

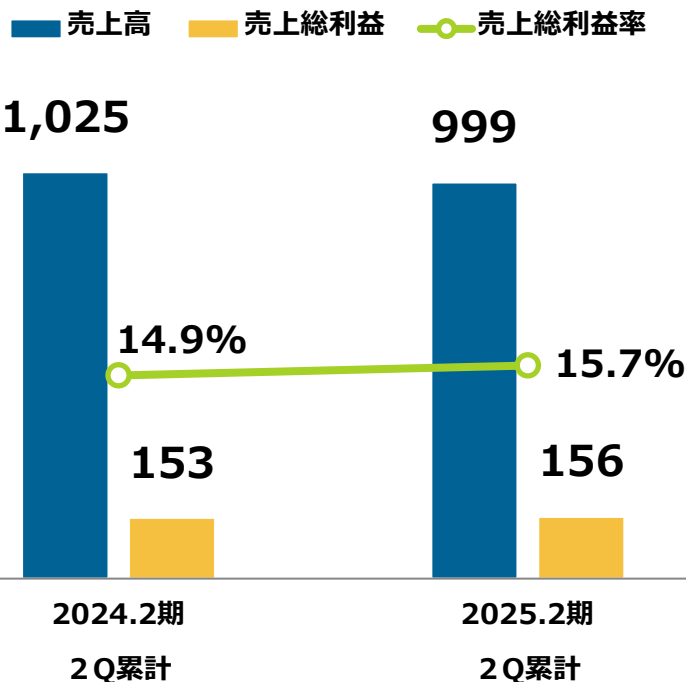
■ 主要製品別販売構成比（連結）



用途別状況 建材関連

建材関連

(単位：百万円)



当社製品 採用例



キッチン



クローゼット

■ 主要製品別販売状況

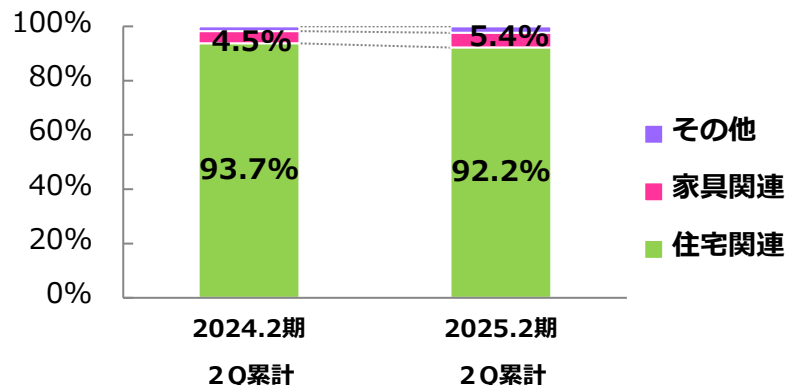
住宅関連	<ul style="list-style-type: none"> 集合住宅向け印刷は堅調に推移 商業施設向け印刷及び戸建て向け印刷の受注減少
家具関連	<ul style="list-style-type: none"> 海外向け案件が堅調

■ Nコート

Nコートはポリプロピレン系の合成紙であり、水に強い性質を活かし、主に自動販売機用のラベル、床材に使用されている。

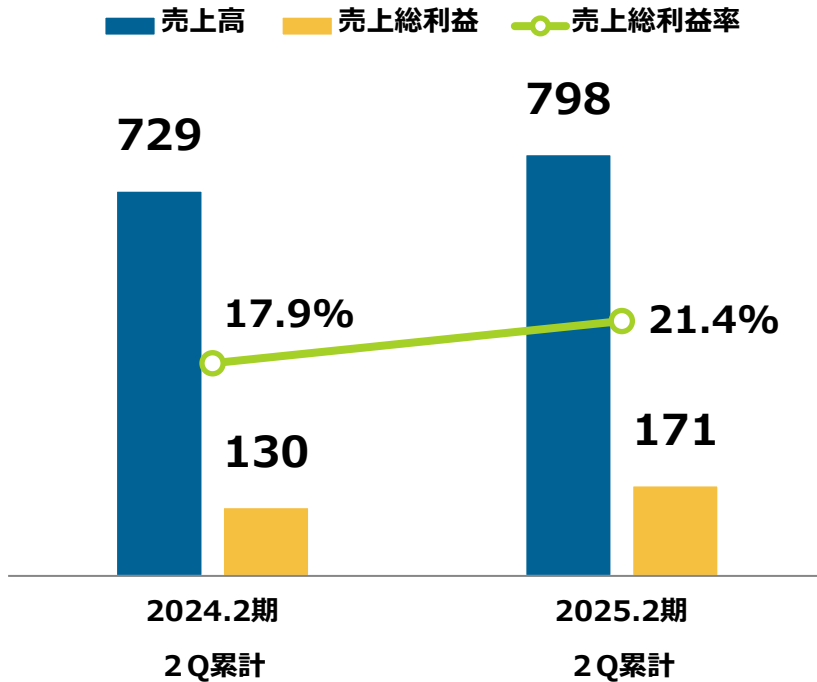


■ 主要製品別販売構成比 (連結)

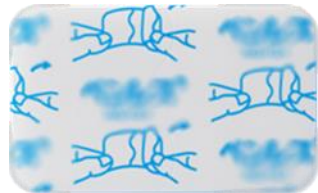


医療・医薬関連

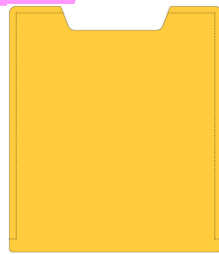
(単位:百万円)



当社製品 採用例



麻酔テープ

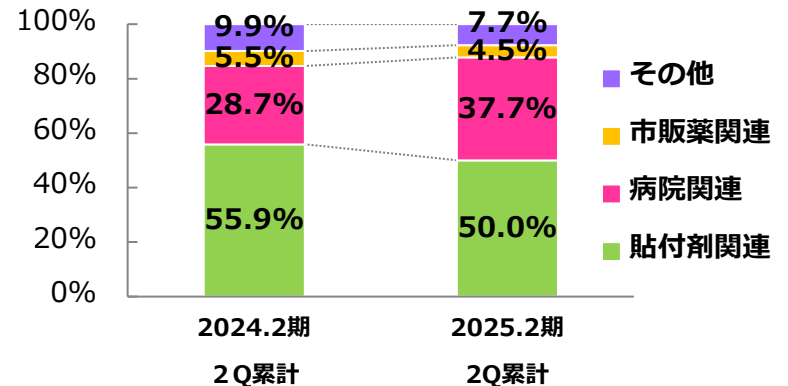


輸液用遮光カバー

■ 主要製品別販売状況

貼付剤関連	<ul style="list-style-type: none"> 海外向けが増加 一部の製品で原材料が高騰
病院関連	<ul style="list-style-type: none"> 輸液関係包材が堅調
市販薬関連	<ul style="list-style-type: none"> 市販薬用包材は減少

■ 主要製品別販売構成比 (連結)



資産・負債の状況

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2024.2末	2024.8末		
			前期末比差額	主な増減要因
流動資産	23,139 (60.1%)	24,810 (61.4%)	+1,670	受取手形、売掛金及び契約資金+1,168、 電子記録債権+529、その他+165、 現金及び預金▲283
固定資産	15,343 (39.9%)	15,607 (38.6%)	+263	投資その他の資産+257
資産合計	38,483 (100.0%)	40,417 (100.0%)	+1,933	
流動負債	16,854 (43.8%)	17,119 (42.4%)	+264	支払手形及び買掛金+99、 電子記録債務+328、未払法人税等+192、 短期借入金▲404
固定負債	3,132 (8.1%)	3,346 (8.3%)	+214	長期借入金+110、その他+102
負債合計	19,987 (51.9%)	20,466 (50.6%)	+478	
純資産合計	18,496 (48.1%)	19,951 (49.4%)	+1,454	利益剰余金+971、為替換算調整勘定+390
負債・純資産合計	38,483 (100.0%)	40,417 (100.0%)	+1,933	
ネット有利子負債	1,275 (3.3%)	1,314 (3.3%)	+38	長期借入金+133、現金及び預金▲283、 短期借入金▲404

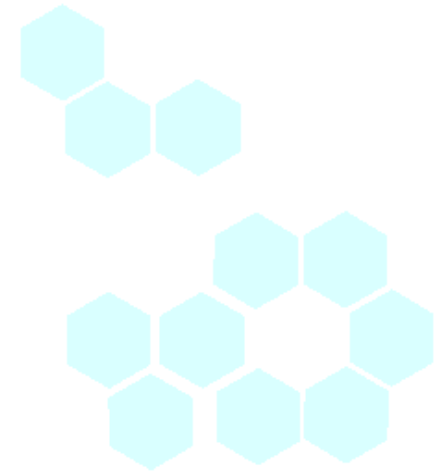
ネット有利子負債 = (有利子負債 - 現金及び預金)

キャッシュ・フローの状況

(連結)

(単位：百万円)

	2024.2期 2Q累計 実績	実績	2025.2期 2Q累計
			概要
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,515	666	税金等調整前中間純利益 + 1,593、 減価償却費 + 622、関係会社整理損 + 113、 仕入債務の増加額 + 557、 売上債権の増加額 ▲1,629、その他 ▲277、 法人税等の支払額 ▲320
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲983	▲508	固定資産の売却による収入 + 12、 固定資産の取得による支出 ▲512
フリー・キャッシュフロー	531	158	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲435	▲637	長期借入れによる収入 + 600、 短期借入金の純減額 ▲453、 長期借入金の返済による支出 ▲467、 配当金の支払額 ▲276
現金及び現金同等物の換算差額	93	190	
現金及び現金同等物の増減額	189	▲289	
現金及び現金同等物の期首残高	5,019	7,446	
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,209	7,157	



2025年2月期 業績見通し

当期の業績見通し（概況）

第2四半期まで

食品関連

- ・ 冷凍食品好調
- ・ 惣菜分野、農産物などのフードパックは堅調に推移
- ・ 中本Fine Pack山梨工場の業績改善
- ・ 連結子会社化した中本アドバンストフィルムが売上及び利益に寄与

IT・工業材関連

- ・ 自動車内装材は回復傾向
- ・ スマートフォン用途や半導体関連、一部の電子部品パッケージ材料が好調に推移
- ・ 次世代電池関連の試作が増加

生活資材関連

- ・ 圧縮袋などの収納商材は消費動向の落ち着きによるテレビショッピング放映枠縮小の影響で減少
- ・ 利益率の高い自社商品の販売が好調

建材関連

- ・ 集合住宅向け印刷は堅調に推移
- ・ 商業施設向け印刷及び戸建て向け印刷の受注が減少

医療・医薬関連

- ・ 貼付剤は海外向けが増加
- ・ 輸液関係包材が堅調に推移

現況・第3四半期以降

- ・ 環境対応包材、機能性包材の取組強化
- ・ 中本Fine Pack山梨工場と中本アドバンストフィルムの売上・利益貢献
- ・ 引き続き製造コストは上昇 価格転嫁と改善活動に努める

- ・ 産業用資材の特需見込み
- ・ 引き続きスマートフォン用途、半導体関連が好調に推移
- ・ 次世代電池関連や成長分野の試作・量産化推進

- ・ 冬物商材の拡販強化
- ・ 新商品の開発・拡販強化

- ・ 既存案件の生産効率向上
- ・ 新機能性建材への取組推進

- ・ 輸液関連の新規開発案件の拡販

当期の業績見通し

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2024.2期 実績	2025.2期 計画	2025.2期	
			前期比	
			差額	比率
売上高	44,362	48,000	+3,637	+8.2%
売上総利益	6,649 (15.0%)	7,880 (16.4%)	+1,230	+18.5%
販管費	4,834 (10.9%)	5,680 (11.8%)	+845	+17.5%
営業利益	1,815 (4.1%)	2,200 (4.6%)	+384	+21.2%
経常利益	2,341 (5.3%)	2,500 (5.2%)	+158	+6.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,057 (2.4%)	1,582 (3.3%)	+524	+49.6%

※2023年2月期以降の各目標数値については、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)適用後の値です

想定為替レート 20.3円/元
142.0円/ドル

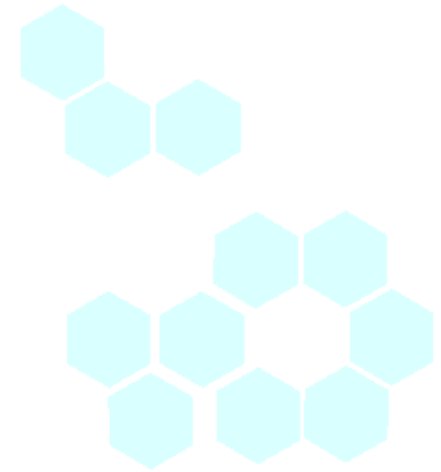
設備投資・減価償却費 計画

(連結) (単位：百万円、下段は構成比)

	2024.2期 実績	計画	2025.2期	
			前期比	
			差額	比率
設備投資額	1,191 (2.7%)	1,417 (3.0%)	+225	+18.9%
減価償却費	1,293 (2.9%)	1,324 (2.8%)	+31	+2.4%

【2025.2期の主な設備投資】

件名	内容	投資金額（億円）
工場・生産設備	印刷機(名張)、成型機(中本Fine Pack)、 クリーン環境工事（三国紙工）他	約9.2億円
IT化・システム付帯設備	太陽光発電システム（名張）、基幹システム関係他	約0.3億円
空調関連	空調設備(名張・竜ヶ崎・中本印書館等)	約1.5億円
検査・測定・分析機器	検査・測定・分析機器(名張・埼玉・技術開発)他	約1.5億円
その他	土地購入・営業車購入他	約1.5億円



2025年2月期の重点取り組み

- 1. 環境経営の推進**
- 2. 積極的なM&A**
- 3. 海外事業の収益アップ及び最適化**
- 4. IT・工業材分野の投資、開発強化**
- 5. 技術力強化による生産性・品質改善**
- 6. 基幹システム刷新による効率化推進**

中本Fine Pack山梨工場黒字化

譲受日	2023年4月3日
譲受事業	ニッセーの事業の一部である食品容器成型事業
2023年4～12月	売上高：約9.8億円 経常利益：約▲0.1億円
2024年1～6月	売上高：約7.2億円 経常利益：約0.1億円



改善の大きなポイント

1. 型替え時間の大幅短縮
2. ショット時間の削減

今までと種類の異なる機械の導入により
大幅な生産性向上が達成出来た

MI C S化学を2024年2月1日に完全子会社化
2024年8月1日に中本アドバンストフィルムに商号変更

業績：売上高 約10億円 経常利益 約0.7億円
対象期間：2024年2～6月（5か月間）
中本グループに入って初年度から利益貢献



実包例



鮭



ソーセージ



とうもろこし

中本グループとのシナジーにより営業、生産、開発を強化することで、
さらなる売上と利益アップを目指す

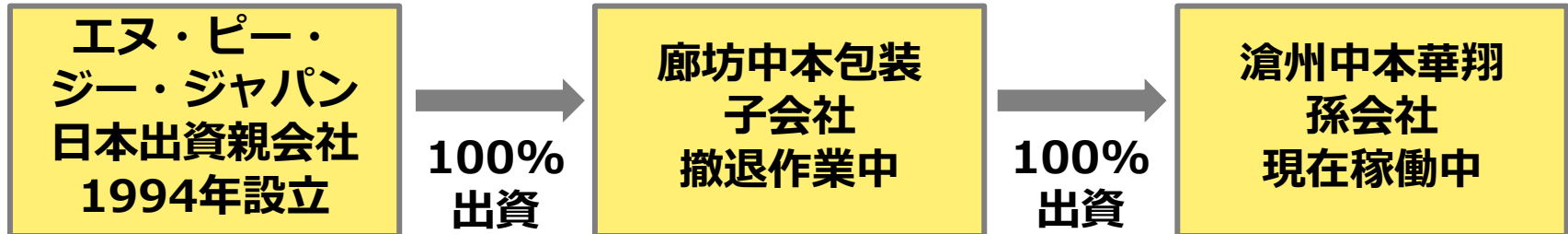
基幹システムの刷新

中本パックス	2024年5月入れ替え完了
中本Fine Pack、中本印書館	2024年7月入れ替え完了
サンタック、中本アドバンスフィルム	入れ替えを検討

今後の展開

1. 各部門との連携を図りながら、導入後の問題を分析・ブラッシュアップ
2. リアルタイムの情報管理、ペーパーレス化などの効果検証
3. 新基幹システムからのデータ活用によるDX化の推進

エヌ・ピー・ジー・ジャパンの株式を譲渡



↑
エヌ・ピー・ジー・ジャパンの株式100%を譲渡予定

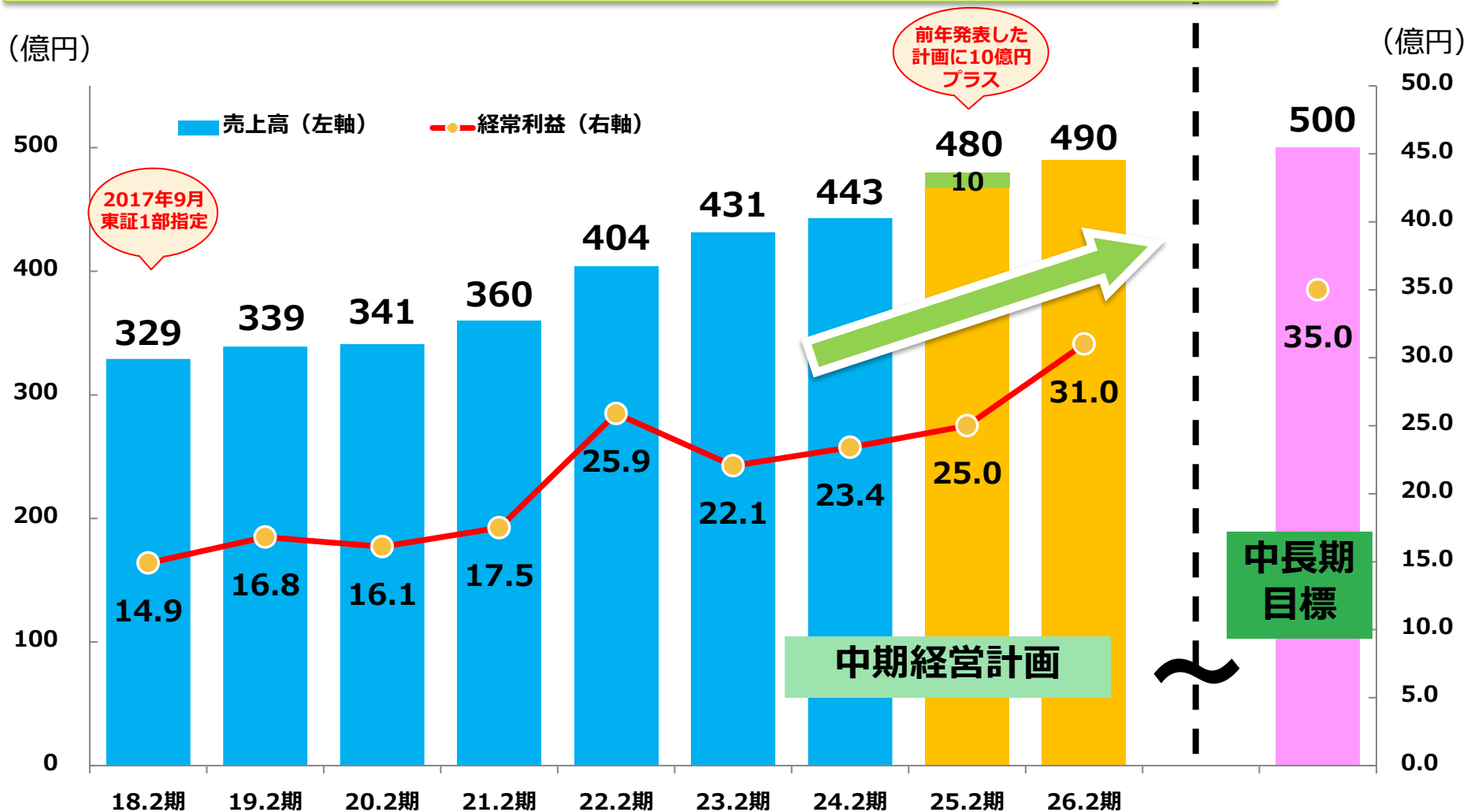
撤退の理由

1. 滄州中本華翔は日本向けの仕事が90%を占め日本に依存
2. カントリーリスクを鑑み、再編・最適化を図っていく

撤退のベストタイミングと判断し、ベトナムへ事業移管を進める

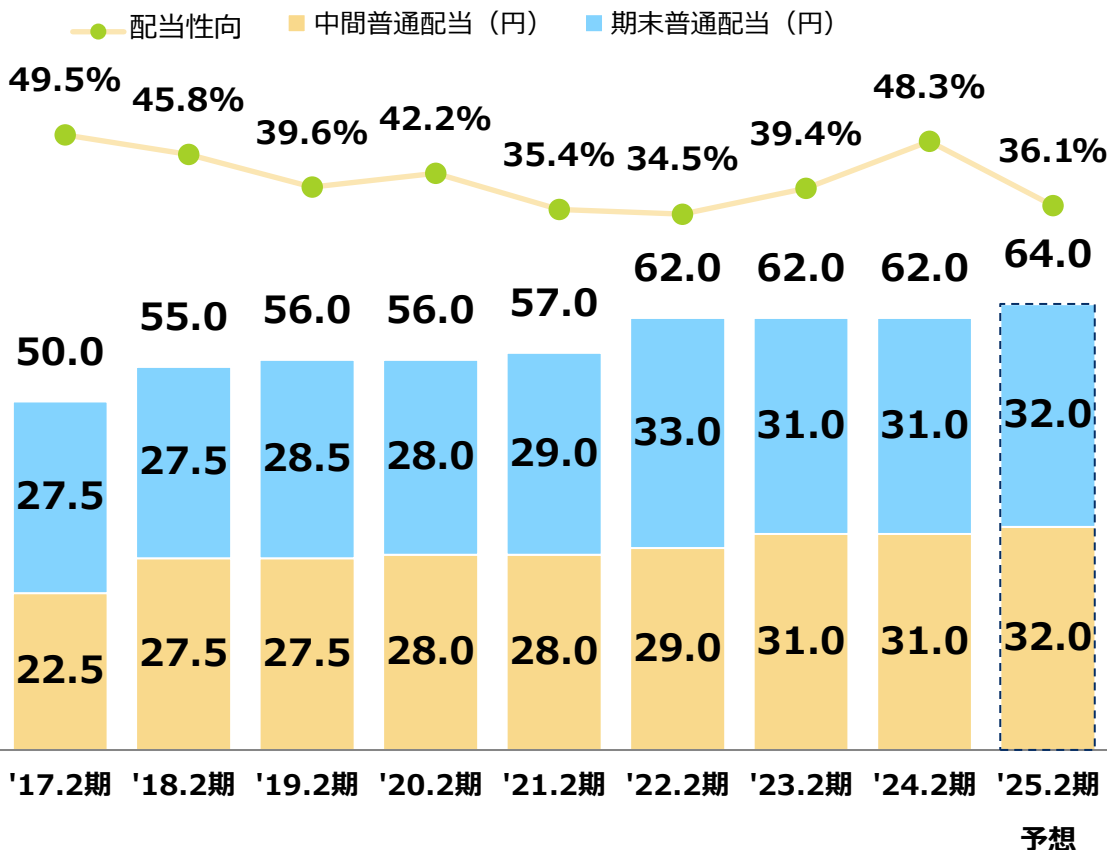
中期業績目標（連結）

中長期的に売上高500億円 経常利益35億円を目指す



※2023年2月期以降の各目標数値については、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）適用後の値です

■ 必要な内部留保を確保しつつ、安定配当を実施していく



【株主優待制度】

対象となる株主様

毎年2月末現在の当社株主名簿に記載
または記録された、当社株式1单元
(100株)以上保有する株主様

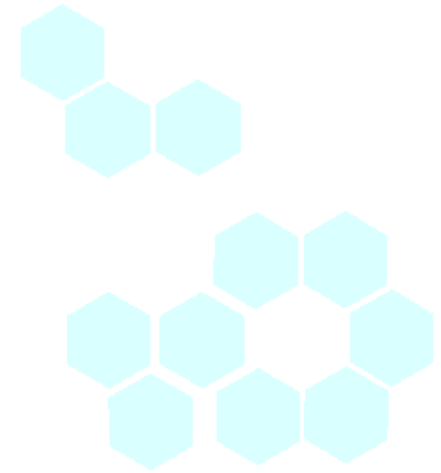
株主優待内容

100株以上200株未満	QUOカード1,000円分
200株以上	QUOカード2,000円分

贈呈時期

毎年5月末頃を予定

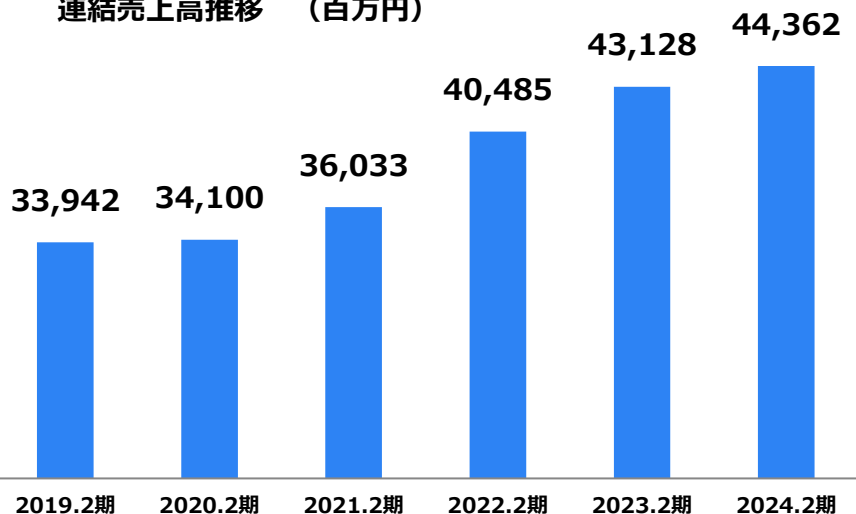




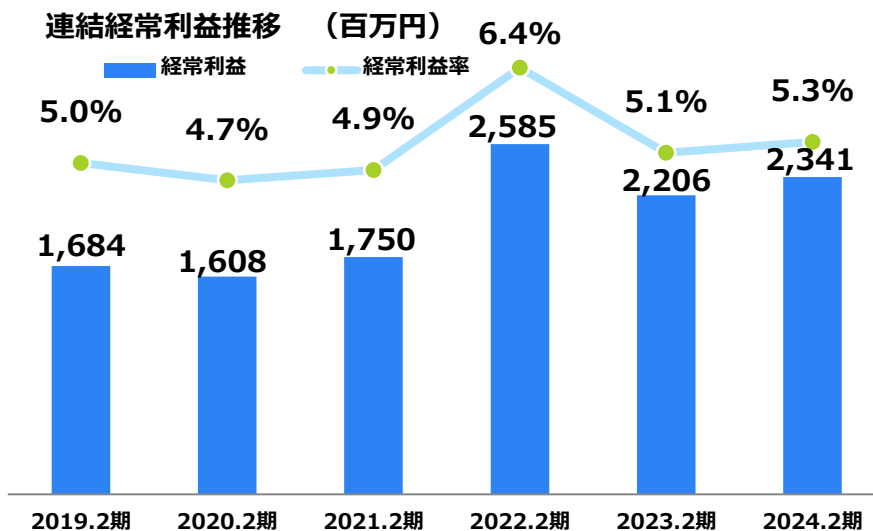
参考資料

業績推移 1/2

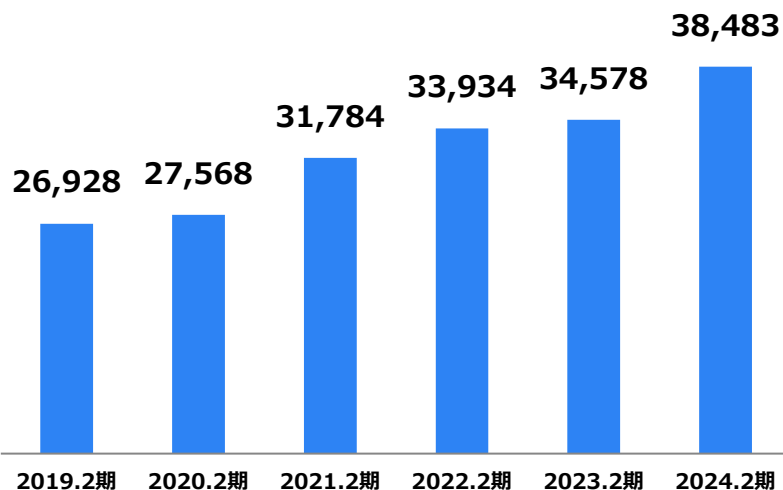
連結売上高推移 (百万円)



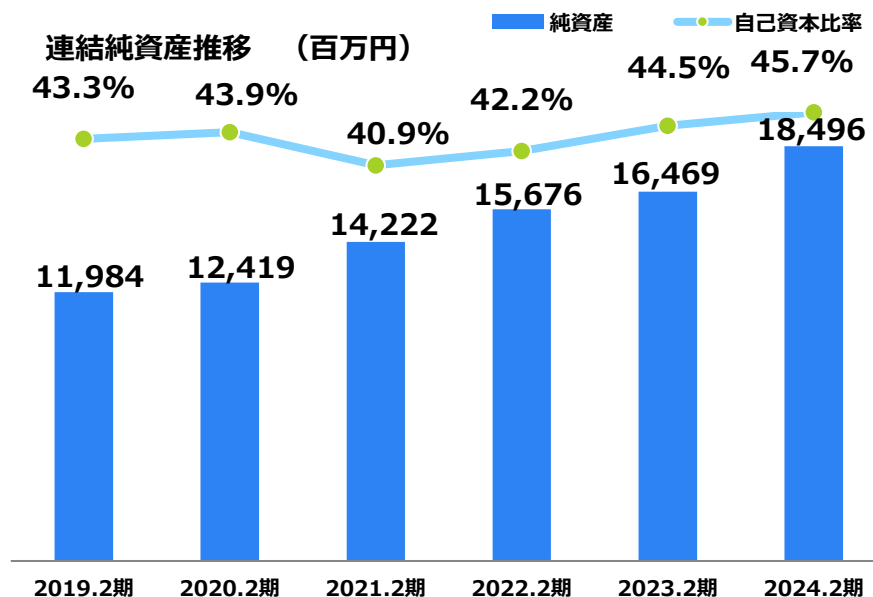
連結経常利益推移 (百万円)



連結総資産推移 (百万円)

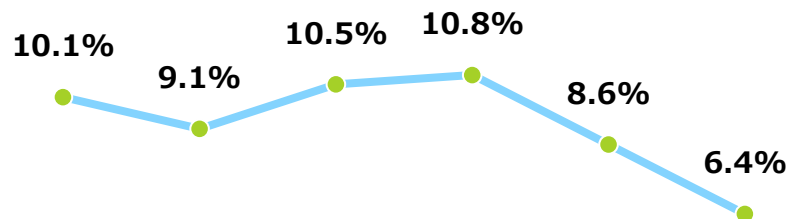


連結純資産推移 (百万円)



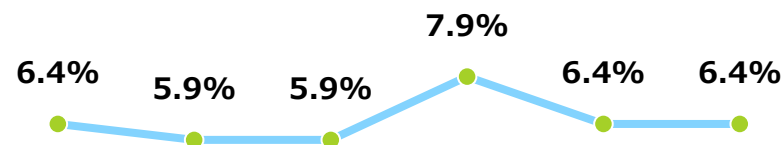
業績推移 2/2

連結ROE推移



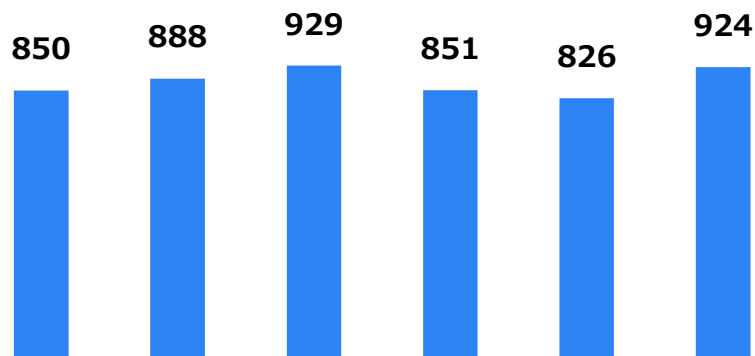
2019.2期 2020.2期 2021.2期 2022.2期 2023.2期 2024.2期

連結ROA推移



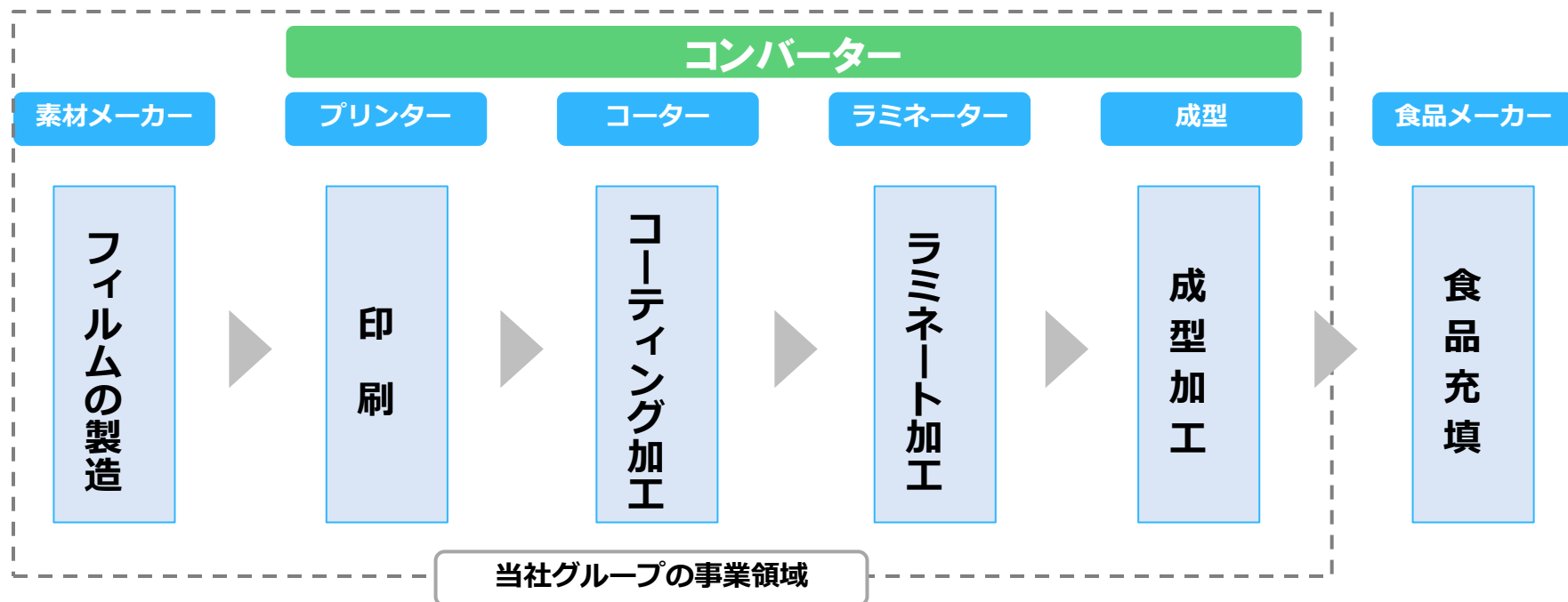
2019.2期 2020.2期 2021.2期 2022.2期 2023.2期 2024.2期

連結従業員数推移 (人)



2019.2期 2020.2期 2021.2期 2022.2期 2023.2期 2024.2期

包装材料印刷加工のプロセス（例）



種類	説明
グラビア印刷	凹版印刷（印刷しようとする文字や模様などの部分が凸版印刷と反対に窪んでいる版面を使う印刷）で、微細な濃淡が表現できる
ラミネート加工 （ドライラミネート及びサーマルラミネート）	包装材料の強化及び機能付加を目的として、接着剤により多層複合化すること
コーティング加工	素材表面を樹脂等の薄い皮膜で覆い、素材を保護したり、機能性を持たせること
成型加工	プラスチックシートに熱を加え、形を変えること（食品用容器、トレー、蓋等） インフレーション法により、プラスチックフィルム及びシートを製膜すること

“人に、環境にやさしい企業をめざして～クリーン&セイフティ～”

社是

「事業は人なり人は心なり、楽しい会社を努力と奉仕と人の和で」

経営行動綱領

- 「誠実と誠意で信用を高めよう」
- 「忍耐を以って創意工夫をしよう」
- 「自己を啓発し協調精神を養おう」
- 「共存共栄を計り社会に貢献しよう」
- 「技術向上と力闘精神を発揮しよう」
- 「礼節と報恩で喜びを得よう」

使命観6ヶ条

- 「私達は顧客の声を心を開いて聞きます」
- 「私達は印刷及び包装容器に新しい技術を蓄積し提供します」
- 「私達は社内外の連絡を密にし、スピードと誠意で納期を厳守します」
- 「私達はお得意先との共存共栄を追求し繁栄に責任をもちます」
- 「私達は感動される仕事とシステムを通じ、より多くの固定ファンをつくります」
- 「私達は運命共同体中本グループのオアシス境をつくります」

【ご注意事項】

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により実際の数値と異なる可能性があります。